

ウィルスに負けず、元気に暮らす

大事なことは

「もし感染しても症状が軽く済むよう

体力や免疫力を高めておくこと」

▶ プロポリスと免疫力



プロポリスには、かぜ・インフルエンザ等の感染症に関して「回復促進作用」があることが明らかになっています。

プロポリスとは、ハチが集めたハーブなどの植物由来の樹液や新芽と自ら分泌する酵素成分が含まれた唾液で混ぜて作った粘性のある樹脂状の固形の物質のこと。

プロポリスは「天然の抗菌物質」とも呼ばれています。

ハチは巣の隙間や外壁に塗ることで、

細菌やウィルスから巣箱を守っています。優れた抗菌作用がある成分が含まれている植物の樹脂には、

傷口を細菌やウィルスから守る働きがあります。



(いちがた)

▶ プロポリスとⅠ型インターフェロン

Ⅰ型インターフェロンは、ウィルスの排除や増殖の阻止・免疫の増強作用などがあるタンパク質の一種です。

ウィルスに感染すると分泌され、周囲の細胞に感染したことを知らせて、ウィルスを攻撃させます。

ただし、Ⅰ型インターフェロンが多く分泌されると、ウィルスの増殖を抑えるタンパク質だけでなく、炎症を引き起こすタンパク質も増加してしまうため、細胞が傷ついて、症状が重症化する可能性があります。

プロポリスには、Ⅰ型インターフェロンによる炎症を引き起こすタンパク質の増加を抑制する働きがあるのです。つまり、炎症を引き起こすタンパク質は増やさずに、ウィルスの増殖を抑えるタンパク質のみが増加するため、風邪やインフルエンザの予防や症状の軽減に効果的なのです。

Ⅰ型インターフェロンの活性を調節して、風邪やインフルエンザの予防や症状の重症化を抑えましょう。

